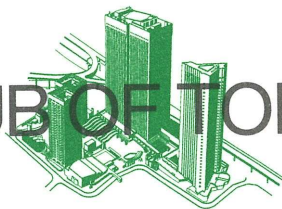




NO. 809
2004年2月20日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年2月20日 第828回例会

ロータリー創立99周年記念例会

(1905年2月23日シカゴRC創立)

◎卓話

「クラブを変えるエネルギー」

元会長 大日方 真君

【先週報告】2月13日 第827回例会

夜間例会／レディス・デイ (18:00～20:00)

◎会長報告

①新会員・椎名康允君の紹介

②2月9日東京麻布RCチャーターナイトに多数の会員の出席とともにお手伝いを頂き感謝いたします。

◎親睦委員会報告(圓谷委員長)

3月2日(火)火曜会は、アークヒルズ1階「ウルフギャング・バックカフェ (tel: 5575-2100)」で「本音で語ろう委員会報告—クラブ会報とプログラム」をテーマに18時より開催します。メーキャップ対象、会費4,000円。3,4月とも同会場。お間違えなく。

◎クラブ会報委員会報告(石井委員長)

①岸会員の病状は現在2回目の治療のため一旦自宅療養中。励ましの言葉などメール、手紙などで直接岸会員にお願いします。

②今週号に山下忠治会員執筆の1月21日付け日経新聞文化欄掲載記事「堀辰雄が聴いた名曲名演」全文を掲載。是非ご一読下さい。

◎慶事披露 お誕生日祝／後藤完夫君(2月1日)、土屋東一君(2月13日)、斉藤茂之君(2月18日)

◎出席報告

会員64名／出席39名・欠席25名(出席規定免除者7名)

ご家族／小杉式子、村山公美、西澤市子、立林清美、土屋淑子、山下幸治 (以上6名・敬称略)



North West Jazz Band
演奏



新会員のご紹介(2004年2月13日入会)



しい な やす まさ
椎 名 康 允 君

生年月日 1952年4月18日(51歳)

職業分類 住宅賃貸

事業所名 有限会社 東 勢

役 職 代表取締役

所 在 地 〒106-0046 港区元麻布3-10-23

TEL 3408-5388 FAX 3408-5388

住 所 〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町15-34

TEL 045-324-0880

推 薦 者 岩上 義明君、新保 國彦君



2月13日 / 9件 17,000円

2003～2004年 累計 923,400円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明・新保國彦・尾関武男・尾上寛／椎名さん入会おめでとう御座います。大歓迎です。土屋東一／お誕生祝など賜りましてありがたく御礼申し上げます。ちなみに淑子さんは2月14日です。西澤正雄／ご家族の皆様ようこそお集まり下さいました。今夜は私の母校の後輩達が演奏をして下さいます。ゆっくりお楽しみ願います。立林英昭／小西さんそしてNorth West Jazz Bandの皆さんよろしく。フレーフレーワセダ!! 山下忠治／日経新聞社より原稿料が入りましたので。小杉眞史／2月に入りロータリーの行事が続きます。夜間例会も宜しく願います。

(紙面の都合でコメントを纏め省略させて頂きました)

【次週予告】2月27日 第829回例会

第2750地区 地区大会に振替

日 時 2月26日(木)、27日(金)

会 場 新高輪プリンスホテル国際館パミール
ホストクラブ 東京立川IRC

大会第一日目 [2月26日(木)](登録開始12:00～)

本 会 議 13:00～18:00

RI会長代理歓迎晩餐会 18:00～20:30

大会第二日目 [2月27日(金)](登録開始8:00～)

本 会 議 8:45～12:25 昼食 12:35～

コンサート 13:25～ 懇親会 14:45～16:30

【次々週予告】3月5日 第830回例会

◎卓話予定 イニシエーションスピーチ

「バイオテクノロジーと人類の未来」

当クラブ会員

アフィメトリクス・ジャパン(株)代表取締役社長 鈴木 貞史 君

第2750地区千代田グループ・CグループIM報告

〔東京芝・東京築地・東京新南・東京日本橋西・東京シティ日本橋RC〕

日 時 2004年2月3日(火) 13:30 (登録開始)～17:00

会 場 学士会館 千代田区神田錦町3-28

出席者(当クラブ)

第一分科会 〔パネラー・小杉(眞)〕、圓谷、庄司、石井、吉田(用)

第二分科会 石坂、開発、土屋、佐々木、村山、藤野

第三分科会 〔パネラー・大日方〕、立林、入沢、渡邊、岩上

第一分科会「青少年交換留学生の意義ある受け入れ問題」

クラブ会報委員長 石井謙次

まず司会の日本橋西RCの関根会員から、青少年活動の説明、プログラムの紹介があった。

全世界で毎年青少年交換学生は8,000名、日本では約350人の学生がこのプログラムに参加している。応募資格、留学生の使命(小さな親善大使)、青少年交換プログラムの特徴などの説明があり、その後に派遣候補生のサマー、オータムキャンプ、各行事の様子、面接の風景などがスライドで紹介された。パネリストは芝RC黒澤会員、築地RC飯塚会員、シティ日本橋RC木村会員、当クラブからは小杉眞史会員。

(1) ホストファミリー(受け入れ先)の選出に関する問題点、家族構成の問題、間取りなど自宅の問題、通学時間の制約など。ロータリアン以外にホストファミリーをお願いした。(冷静な目で留学生を指導できる)ホストファミリー可能な会員が限定される。バックアップの必要性。

(2) 学生への金銭的な負担について
各クラブ積立金方式、臨時徴収等まちまち。
その費用は、本人へのお小遣い、ホストファミリー補助、学費、学校関係(教材、制服、指定品)修学旅行、クラブ活動(旅費等)など。

(3) 携帯電話の普及問題
留学生が日常的に得る情報量は格段に多く認識の格差を生んでいる。また、情報交換が盛んな為、情報過多の様子。

以上各クラブが直近の例を挙げて発言した。

都市部での受け入れは、勉強以外での異文化の体験、習得の場所、機会が多い。「各種の誘惑」も年々多くなっている。「交換留学生制度」の有り方を常に再確認する必要性あり。
地区からホストクラブへのフィードバックの機会を。

2580地区との合同で現在事業が進められている。

第二分科会「国際奉仕活動の問題点について」

職業奉仕委員長 開発 英基

芝RCが三鷹RCと共同で現地RCも巻き込んで実施したネパールでの人道的奉仕プログラムについてビデオを交えて紹介があった。

これは1999年ミレニアムの年の記念事業として始められた、マッチンググラント方式による教育訓練プログラムで、パソコン、ミシン、シルクスクリーン印刷機が寄贈されて、大きな成果をあげている。

国際奉仕に取り組む場合、時間と金を惜しまず現地事情を充分理解しないと成功しないと言うのが結論であった。

また小さなプロジェクトを5年間に亘り推進した結果、日本語図書館への本の寄贈やポリオワクチン接種などにまで広がり、ネパールの人達に喜ばれているとの話に感銘を受けた。

第三分科会「地域密着の社会奉仕」

社会奉仕委員長 立林 英昭

当クラブ大日方真会員の司会により定刻開始。各パネリストの発言要旨は以下の通り。(発言順)

I. 芝RC・山村浩三会員

4大奉仕委員会にプラスボランティア委員会を設置して、5つの委員会が粋を取り払い、クラブ内の横断的な組織として各々協力し合い、実施に当たっている。

①「港区民まつり」への出展、参加 ②「課外授業」の実施

③「青少年のための介護入門教室」の実施

④「青少年国際スポーツ交流会」の実施

II. 築地RC・成瀬邦雄会員

「要覧」は崇高な理念が述べてあるが、それを踏まえて具体的に以下の活動方針で行っている。

①福祉の第一線で活躍している人を理解する。リハビリ指導員、救急隊員との懇談会等。

②社会奉仕委員会だけでなく、他委員会と連携して相乗効果を出す。社会奉仕との築地市場見学会等。

③毎年なんらかの独自性を打ち出す。

III. 日本橋西RC・桑原証人会員

人間尊重、地域発展、環境保全、共同奉仕を目標としている。

①中央区主催の小中学生を対象にして「環境作品コンクール」入賞者100名にデイバックを寄贈し、その作品のカレンダーを会員に配布。(14年継続)

②東京湾花火祭に協賛

③家族会時に「小銭募金」を実施し、「国境なき医師団」等へ寄付。

IV. シティ日本橋・三宅慶彦会員

地域密着型の奉仕としては、現に存在している問題の解決、未来に向けての問題解決を考えたい。未来を背負う若者への働きかけや環境問題によりウエイトを置きたい。

①日本橋中吹奏楽部への支援を通して若者に奉仕の精神の素晴らしさを伝える。②腕白相撲 ③東京湾打上花火等。

V. 新南RC・大日方真会員

設立以来17年間の社会奉仕活動の経過説明。最初の3年間は親睦が中心であったが、その後アイメイト協会への支援、障害者授産施設泉の家への支援(ガバナー賞受賞)活動等の“触れ合”が中心であった。

関西大地震を契機に、港区の防災はどうなっているかという問題意識から、地域のお母さん方と勉強そし、地域密着型の奉仕活動へと移行していった。

こうした実績をもとに、ロータリークラブ創立100周年という節目の年に、地域密着した社会奉仕活動をどう行おうかを考え、前年度(2002-03年度)に港区美術展の開催を決定し、準備委員会を立ち上げた。これまで3つのことを中心に準備を進めてきた。

(1) 美術展の開催要領をまとめる

(2) 港区を活動区域にしている7クラブの共同参加で美術展を開催する。

(3) 港区、港区教育委員会など関係機関の理解と協力を得る。
100周年を迎える今、ロータリークラブの活動を地域に広く知ってもらうことが重要だと考えて、足掛け3年にわたる活動を行っている。

VI. 討論と今後の課題

地域密着の意味と方法論

これに対する1つの解答として、ロータリーは従来から「金」を出すだけで、「アセ」をかかれないと言われてきた。「アセ」をかくことが地域密着と言えるのではないか。まず、その為には地域へのRCの理解を浸透させることが肝要である。方法論として、①物品の協力 ②会員のスキルの提供③卓話、講話の提供 ④イベント、企画の実施 ⑤見学会、表彰の実施 ⑥外国人との交流等がある。

現役の職業人が一日働いてその上余暇を「アセ」をかくことに費やせば、休息の暇も無く、現実にはむづかしいのではないかという意見も出た。今後考えるべき課題であろう。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉眞史 〔幹事〕村山公士

〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕福島賢哉

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h3.dion.ne.jp

例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111